



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel&Fax894-0052 <http://www5e.biglobe.ne.jp/~renkyou/>
Mail: renkyueditor@mail.goo.ne.jp

第 237 号

2009.07.05

庄戸設計説明会速報 「地権者に通知しない 設計・用地説明会」は無効

6月3日、事業者は庄戸地区の道路予定地周辺の100戸余りと庄戸1-5丁目各町会長のみならず、文書を配布して「6月29日午後7-9時庄戸小体育館で南線に関する上記説明会を開催する」と通告した。庄戸の道路予定地には全住民の共有地があり1,300戸が地権者にも拘わらず、事業者は9割1,200戸の地権者には一切知らせないまま説明会開催を進めた。



夕闇せまる庄戸小校門前での折衝

これは財産権を保障して地権者を守る憲法第29条に違反するとして住民は国土交通大臣に行政不服審査請求を行うとともに、事業者は説明会の中止を申し入れた。しかし事業者はこれを拒否し、以下に示すように住民を欺く卑劣なやり方で強引に事を進めた。これに対して今回は連協、庄戸三丁目、庄戸合同道路委員会の三者が説明会阻止のため200名以上が一致協力して事にあたった。

1.事業者は説明会の準備は学童が下校した午後4時以降に行う旨の文書を申請しており、許可した学校長と住民代表にその旨明言した。しかるに事業者は当日午前9時前の授業中に資材を積んだトラックと作業員数名を構内に

入れ、同時に天幕二張りを持ち込んだ。これは「準備は午後4時以降」とした約束に違反するだけでなく、学童への悪影響を無視した許しがたい行為である。更に悪質なのは学童在校中に事業者が構内に立ち入るはずがないと信じた住民の裏をかく卑劣なやり方である。

2.午後5時以降、校門前で住民と事業者側代表加藤工事が交渉を続けている最中に、



地権者を欺き青空で説明会



NEXCO 設置の臨時テント会場

事業者は別の場所で青空説明会の準備を始めごく少数の住民(その多くは非地権者)を対象に説明し、これをもって南線の設計用地説明会は成立したと主張している。これも正規の説明者である加藤工事が住民と話し合っている限り説明会は開けないと住民に信じ込ませ、その間、別の場所で加藤抜きで説明会準備を進めていたのである。住民を愚弄するこのようなやり方を今後厳しく追及して行く積りである。(法都計部)

公田トンネル地盤沈下説明・ 質問集会開く！！

朝日平和台は約 300 世帯が住む小高い狭い丘の下を、6車線の横環南線（公田トンネル）と4車線の上郷・公田線（桂町トンネル）が貫通するという滅茶苦茶な計画にさらされている自治会で、住民の不安は並大抵のものではない。

前号のニュースでも報告したとおり、高速事業者 NEXCO は 5 月 25 日から道路幅杭標識打ちのための測量を強行してきた。住民は連協各団体の協力を得て、全力を挙げてこれを阻止した結果、6 月 1 日に至り NEXCO は、残り 5ヶ所の標識作業を中断せざるを得ない状況となった。

そこで NEXCO は、住民の理解を得るためとして、改めて平和台住民を対象に説明会を開くことを提案してきた。平和台としては連協主宰の「質問集会」で十分に学習してきた故、これまでは独自の集会開催は無用として拒否してきた。しかし NEXCO は、「シールド工法の採用がほぼ確定した故、新しく説明し質問に応じたい」として強く開催を求めてきた。

シールド工法については、従来の質問集会では正式に取り上げられていないので、住民も改めて学習をしなければならないのは自明と考え、その手始めに平和台で集会を開く事とした。ただし「この説明・質問集会が終わるまでは、測量は再開しない」ことで両者が合意した。

集会は、6 月 30 日と 7 月 31 日の 2 回に分けて開催、6 月は NEXCO の説明と質疑応答、7 月はシールド工法と地盤沈下関連問題に絞っての質疑応答を行うことになった。

6 月 30 日は約 60 名の住民が参加し、立ち見まで出る盛会で、住民の不安の大きさが読み取れた。時間が 2 時間と短かく、まして NEXCO の説明に半分をとられてしまうので、住民側の質問と回答受けを効率よく進行させるために、

住民側もパワーポイントを使って質問、

住民の質問事項をあらかじめ集約、整理した上で小沼氏が代表して質問する、という形

式をとった結果、住民の理解が容易となりこの点は好評であった。

質疑の内容については即答不能の問題や見解の相違点等が明確に確認され、7 月の集會ではシールド問題とともに、よりシビアな討論が期待される。（シールドについては、桂台、公田、笠間 3 トンネルを一括して採用するのが必須前提条件であると NEXCO の明確な発言を導き出した故、本件は今後連協全体の問題として取り上げる必要があると考える。）

また議事録は全発言を NEXCO が起こし、それを住民側がチェックし合意したものを正式とすることとなった。（朝日平和台 松本）

活動報告

- 6/12 「6/29 の庄戸地区設計用地説明会の中止を求める」抗議文を下記に送付。
横浜国道事務所長、市道路局長、
NEXCO 横浜工事事務所長
- 6/15 国交大臣宛、「説明会の中止を求める行政不服審査請求書」提出
- 6/22 同、「審査請求書補遺書」提出
- 6/22 ~ 23 横浜国道事務所、市道路局に出向き、説明会中止抗議文を再提出
- 6/29 庄戸設計用地説明会の阻止行動
- 6/30 かながわ大気汚染・道路公害連絡会

今後の予定

- 7/31 朝日平和台説明会
対市道路局 7/11,7/15
対 NEXCO 7/31
「高尾天狗の行進」は 10 月に変更。
詳細は後日連絡します。

編集後記

政権交代前に少しでも既得権、既成事実を作ろうとの事業者側の強引なやり口が目に残ります。

政権もそうですが、末期には誰でも死に物狂いになります。事業者側の「焦り」の裏返しでしょう。

連協は正攻法で主張します。